

3月定例会

一般質問



3月4日～6日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載となり、内容につきましては各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。

議会活性化特別委員会から

2月7日に元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏を講師にお招きし、「飯山市議会活性化化学習会」を開催、「議員の役割と議会活動の基本、守るべき政治倫理」と題して講演いただきました。講演の中で、議会の役割として「議会は決定機関として議決責任・説明責任をどう果たしていくか」、議員の



責務として「合議体の構成員として議会の機能を遂行する責務（議会活動）、住民の代表者としての責務（住民意思の把握、調査研究等の活動）（議員活動）」、議員としての普段におけるコンプライアンス（法令遵守）意識の重要性、政治倫理条例制定にあたって議会で議論すべき事項について講演をいただきました。議会活性化特別委員会では、現在、議会活動の充実強化を協議する「議会のあり方分科会」、市民に開かれた議会の推進を協議する「広報広聴分科会」のほか、市民に信頼され、活力ある議会とするために必要な基本理念、議会及び議員の活動原則を定める「飯山市議会基本条例」の制定に向け「議会基本条例検討委員会」において協議を行っています。

また、4月21日に開催した議会全員協議会では「新型コロナウイルス感染症に関わる議員の行動指針」について定められました。

一般質問

地域中小企業が元気になることこれが地方創生



上松永林議員

◆台風災害対策について

家屋・商店の被害状況は、家屋629件、商店事業所180件、被害額10億。再開事業所174件、廃業3件。

支援制度の内容説明は、市広報・防災無線・手紙等で、会議所に相談窓口設置。

市施設の復旧はいつか。順次復旧、年度内に完了。寡雪支援策は不十分では。関係者と協議し、緊急経済対策資金として利率1.5割の資金融資、その借入資金に対して1割分を利子補給する。

消費増税、台風、寡雪、ウイルス。破綻しかねない地域経済の浮揚策が必要では。会議所・事業者と相談。国の動向も注視。情勢にあつた経済対策を実施したい。

地域に根差した企業は宝に先駆けて後継者・事業承継の政策制定を。

地域に根差した企業の継続への願いは同じ。会議所と連携し支援策を検討したい。

飯山市総合戦略について5年間の検証結果は。目標値の7割以上達成。

地域中小企業が元気になることこれが地方創生

防災減災について



西澤一彦議員

国から信濃川緊急治水対策プロジェクトが公表され、戸狩地区の狭窄部の河道掘削工事、決壊した皿川堤防、また無堤防地域の整備等が盛り込まれたが、秋津地区、清川以南も無堤防整備地域に含まれるのか。

堤防整備地区に含まれていると理解している。

千曲川の水位が過去最高に上昇。古牧橋下流の嵩上げがされていない堤防では、天端まで増水した。多くの住民が避難したが、新しい古牧橋と堤防が整備されるまで何年かかる。また大雨が降れば、外水と宮沢川の内水の氾濫で堤防が挟み撃ちになり大変危険になる。

大型土のうの備蓄も考えられる。国・県へ要望したい。

中山間地のため池。過去に決壊し犠牲者が出た記録がある。どのように把握されているのか。

堤体が決壊した場合の危険ため池は28か所、うち18か所はため池ハザードマップで製済み。残りの10か所について令和2年度作成する。

農業振興、住みやすい地域、防災減災を問う

公社で無くても農業・農村を守るための組織が必要だ。飯山の農産物は魅力ある。収益を上げる行為の民間感覚を持った組織が必要。関係団体と一緒に検討して行く。

家から道路までの玄関前除雪にロードヒーティングと消費マットの活用を助成を。

除雪支援員制度を進めながら、融雪設備への助成について研究したい。

市道路肩草刈り機2台で間に合わない地域は住民の草刈りに助成を考えたかどうか。

19号台風災害の検証結果はいつ出るのか。市民との話し合いの場をいつ持つのか。また水防計画を策定すべきだ。

検証結果は4月末頃の予定。集落の防災マップ作りを含め地域住民と行政懇談会で対応して行く。水防計画は策定し随時見直しを図る。

消防団の現状について



佐藤正夫議員

消防団の現状について

消防団のなり手不足が深刻と聞か、条例での定数は850人となっている。過不足について現状はどうか。

令和2年1月10日現在の団員数は791人で、59人下回っている。

災害の発生は昼夜・休日問わず発生する。消防団員の多くは勤めに出ている。各地域の現状を知っている消防団を支援する消防OBの協力組織が必要と思うがどうか。

集落によっては予備消防組織されている所もあると聞く。全国にも引退した人が経験を生かして組織する機能別消防団員が増えている。消防団と導入について検討したい。

婚活応援事業についてこの事業は平成24年からスタートして7年が経過したが、今までの成果をどのように把握しているのか。

7年間で35回の婚活イベントを開催し、832人の参加で168組のカップルが誕生した。その中で市が把握している成婚は5組である。

すべての事業に結果を期待

2年前にも観光局事務所の分離、独立について伺った。その後どのようになったか。

観光局は民間法人であるため事務所の分離が望ましいと考えており観光局との協議、検討を進めている。

新幹線飯山駅前にホテルが何故必要と考えるか。

信越自然郷、周辺観光地への玄関口となる。単に通過点でなく滞在する拠点としてのホテルが必要と考える。

新幹線開業から5年が経つ。もっとスピード感を上げて取り組む必要がある。現在の公募条件に関し、条件緩和や見直しなど行い再度公募する考えはないか。

スピード感は重要である。提案いただいたりしている事業者も含め、新たな公募の実施も視野に入れ検討したい。

すべての事業に結果を期待



久保田幸治議員

すべての事業に結果を期待

千曲川治水対策として5年以内に遊水地を新設すると国・県で言っている。市内に設けるとすれば、どのような整備をイメージしているか。

普段は農地、洪水時は遊水地として土地の有効活用が図れる方法も一つと考えている。

12 市議会だより/20.5

希薄な地元行政の防災意識



市川久芳議員

作成されていない「飯山市 水防計画書」について

水防法で作成が義務付けられている「飯山市水防計画書」が作成されていないが、どうして作成しないのか、その責任は誰にあるのか、いつまでに作成するのか。

「地域防災計画」の中に記載し運用しているが、8月末をめどに策定していきたい。

提出されていない「水防顛末書」について

県の規則で提出が義務付けられている「水防顛末報告書」はいつ提出されたのか。

提出していない。

飯山市水位観測について

観測所の位置とその位置の堤防の高さと計画高水位を知っているのか。

位置は県境からの距離標でおおむね30キロであるが他は、市独自に設置しているということもあり算出していない。

防災無線の水位の報告

市民は「水位8メートル30センチ」と言われても理解できない。「堤頂まであと2.3メートル」と報告できないか。

今後検討していきたい。

国民健康保険及び生活災害支援について



渡辺美智子議員

保険税率の資産割合率が4.05%引き下げられる条例が出ている。これによる引き下げ分1人当たりおよび市全体の額は、また保険税を決める県への納付金はいくらか。

1人当たり平均年間1,100円、市全体で500万円。納付金は今年度比べて約1億円減の5億4100万円。

約1億円減に関わらず500万円とはどういうことか。もつと減税に充てるべきでは。

基金に積み立てて、納付金が増額した時は基金を活用して保険税の増税を抑制する。

18歳以下の子ども均等割の軽減が出来ないか。人数は割増し348人。軽減には充分調査し、慎重に制度を吟味して進めていく。

新型コロナウイルスの感染において資格証を短期保険証とし受診できるように周知を。周知したい。

台風災害による国、県の生活再建支援の対象外の被害世帯に市独自の支援を求めます。

569世帯に、床下浸水も含めて義援金の配分作業中。

新年度予算と施政方針について



小林喜美治議員

施政方針ではその冒頭部分で国や県の状況について、経済の高環境の進展、景気回復、消費者物価の上昇が見込まれるとされている。しかし消費税の10%の引き上げにより家計消費は落ち込み市民生活を襲っている。どこに経済の高環境と景気回復といわれるものがあるのか。新年度予算は復興元年との位置づけであるが、災害復興対応などかなりの大型予算となっている。

新年度予算の特徴について。

被災者支援の継続的な支援、復興に向けたまちづくりを第一として移住・定住人口、新幹線を中心とした観光交流人口増を施策とした予算編成となった。歳入では、災害による市税の減が約6000万円、交付税が増額となった。

国土交通省の発表した「信濃川水系緊急治水プロジェクト」について、静岡県籍の無提地区の解消にあわせ清川の河口部分も検討されるのか。

支流部分も総合的に改修が検討されると考えており、国・県へ要望していきたい。

台風第19号の復旧事業

千曲川（本流）の避難勧告実施

千曲川（本流）の避難勧告実施



松本淳一議員

昨年の水害時の対応について聞く。当時千曲川の水位が飯山市の避難判断通告マニュアルで警報を出すと決めている水位、避難勧告は（9.4メートル）、避難指示は（10メートル）のいずれの高さをも超えていたにもかかわらず、ハザードマップにもとづいて勧告、指示が出されなかった。この事実を市民にどう説明するのか。

説明するというよりも、どういう判断をしたかというのと木島地区、常盤地区は、判断基準の前の段階で避難勧告を出した。飯山地区については、千曲川水位の上昇の見込み、雨の状況、千曲川河川事務所の情報を含めて判断した。千曲川河川事務所からは、堤防まで1メートル以上余裕があると聞いた。決壊は免れると判断した。

水没車両について調査・支援はできないか。

被害が多いのは承知している。現在、支援計画はない。

感染症対策について



吉越利明議員

コロナウイルスに関する市民への予防等の発信方法は、防災無線やホームページ、チラシを配布し対応した。今はインターネットを通じ、わかりやすく市民に発信していく。

売上減少に関して事業者への支援策は考えているのか。

飯山商工会議所と合同で事業者向け特別相談窓口を設置し必要な支援策を検討する。

観光戦略について

誘客に関して、飯山市と信州いやま観光局の取組は、新商品の開発や他団体と連携し営業活動を行っている。民間の皆さんの意見を聞き多様化している観光客に提供できる商品開発をしていきたい。

治水対策について

信濃川水系緊急対策プロジェクトへ、災害を受け市としてどのような要請を行うのか。

飯山盆地がリスクを抱えないよう慎重に計画整備いただくよう国・県に要望したい。

大関橋は災害時、橋桁まで増水し危険な状況であった。架け替えを要請してはどうか。

今回の状況を踏まえ、県に要請していきたい。

地域おこし協力隊について



飯田健一議員

地域おこし協力隊は過去を含めると隊員はトータルで何名になるか。

現在6名の隊員を任命している。平成26年度から事業に取り組んでおり、これまで12名の協力隊員を任命した。

任務期間満了後、市内に定住した人は何名いるか。

全退任者6名のうち、定住した方は2名。

市職員のような仕事ではなく、地域に出て行き、まさに地域おこしになるような仕事をしてもうたらいかがか。

受け入れ先のこともあるので、要望があれば考えていきたい。

高校再編について

高校再編の件についてはまだ議論が不十分なのでないか。もつと保護者、高校生、中学生、そして一般市民の声に幅広く、深く、耳を傾けるべきではないか。

懇談会を岳北4市村で、丁寧に行った。出された意見を真摯に聞いてきた。説明等については充分やったので足りないとは思っていない。

令和2年6月定例会 会期日程（予定）

- ◆ 招集・議案上程 6月8日(月)
- ◆ 一般質問 6月16日(火)～18日(木)
- ◆ 各常任委員会審査 19日(金)～23日(火)
- ◆ 委員長報告・採決 25日(木)

現在、民間事業者からいくつか提案を頂いているので、スピードをもって建設に向け進めて参りたい。

経済的な支援はどうか。

奨学金制度を新設したい。

新千曲荘敷地面積は1万5000平方メートル。現時点では具体的な跡地利用案はない。

地域のおこし協力隊は過去を含めると隊員はトータルで何名になるか。